

地域福祉かわら版

YOMO-DE!

よもーで

第9号

集まつた方の「元気」を確認できる。



皆で笑いあって楽しんでいます。

サロンの運営者や参加者に、あなたのサロンの良いところや課題等をお聞きしました☆*

皆で意見を出しあい、付せんに書き出しました。



男性や、若い人たちにもっと来てほしかね！



サロンが楽しみで外出する機会が増えたと言ってもらえた。

サロニン

皆が気軽に集まれる場所、ありますよ！

佐世保市内で活動されている、ふれあいきいきサロンの代表者を対象に「ふれあいきいきサロン情報交換会」を平成27年11月13日（金）、25日（水）、26日（木）の日程でそれぞれ3つのブロック（北部I、北部II、東部I）で開催しました。

ふれあいきいきサロンとは、地域で暮らす方が気軽に“楽しく”“定期的に”集まれる場所のことです。市内には73のサロンがあり、地域の方が集まりやすい町内公民館で多くのサロンが活動されています。社会福祉協議会（社協）ではサロン活動で生きがいや仲間作りなどのきっかけを作り、地域住民の皆さんのが安心して暮らしていくよう、サロン活動を推進しています。

今回の交換会は、活動の活性化や、他サロンとの情報交換することで今後の交流のきっかけとすることを目的に実施しました。各サロンの代表者を始め、福祉推進協議会、地域包括支援センターより出席を頂きました。

まず社協より介護予防体

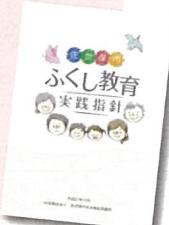
Information

佐世保市ふくし教育実践指針を策定しました！

「ふくし教育」は、地域や世代間のつながり、また様々な交流を通して他者と「共に生きる力」を育むことを目的としており、これからの地域福祉の推進にとって重要な取り組みです。

昨年11月、佐世保市社会福祉協議会は、ふくし教育の考え方や実践を広めるために関係機関の協力を得て「佐世保市ふくし教育実践指針」を策定しました。

この指針を参考にして、小・中学校、高等学校をはじめ、地域や自治会、企業、団体など、地域の様々な場面では非活用いただきたいと思っています。



操やレクリエーションの紹介、サロンの効果等を説明した後、「より楽しいサロンを続けていくためには…」というテーマでグループワークを行いました。活動を振り返り、サロンのいいところや悩み等、様々な意見が出されました。いいところでは、「楽しみができた」、「友達が出来た」等、参加者だけでなくサロンに携わっている方の生きがいにも繋がっているようです。一方で、悩みの中では、人材不足や「多くの人にサロンを利用して欲しいが、活動していくのにお金が足りない」など財源不足が課題と

しても今回出して頂いた意見を真摯に受け止め、サロン活動がより活発に楽しむ活動ができるよう、意見をもとに取り組んでいきたいと思います。

社協では、ふれあいきいきサロンの立ち上げの相談や活動内での困りごとの相談等の支援も行っています。お気軽にお問合せください。

させぽんが行く

『社協のヒミツ』

大解析!!

ってなに? (パート2)

日常生活自立支援事業

Aさせぽん(佐世保市社協キャラクター)
Aさん(日常生活自立支援事業利用者)



Aさんのプロフィール

・40代・女性
統合失調症(※1)
お金があるとついパチンコに使ってしまう

こんには!
今日は、日常生活自立支援事業(以下: 日自)について、実際に利用している方に聞いてみるぽん!

Aさん、今日はよろしくお願ひします。

S早速だけど、Aさんは日自でどんなサービスを利用しているぽん?
A私は、ついつい収入よりも多くお金を使ってしまうことに不安がありますぽん。
S「日常生活管理サービス」を利用していません。
A体的にどんなことぽん?
S私の場合は、通帳と印鑑を預かってもらつて、公共料金の口座引き落としの手続きをしてもらいまし

Aお小遣い分は、週に1度社協に自分で取りに行っています。
Sはじめはどうやつて日自のことを知ったぽんか?
A最初は、通院している病院の精神保健福祉士(※2)の方の紹介で知りました。

S利用することに対して不安はなかつたぽんか?
A初めて会つた人に通帳を渡すことには不安はありませんが、いつも私に関わってくれる精神保健福祉士の方や保健師さん、相談支援事業所の方からも勧められ、次第に信頼できるようになりました。

この方に聞きました!
日常生活自立支援事業 利用者
Aさん



Aせせぽんも、いっぱい勉強になって楽しかつたです。話が出来たぽん! 次は、表でも紹介して詳しく聞いてみるぽん! いいですね! せせぽん、頑張ります。

【用語解説】
※1: 幻聴や幻覚、被害妄想という症状が特徴的な精神疾患。

※2: 精神的な障害のある人に対するように支援したり、社会参加に向けた支援活動等を行う者。

次回のテーマ
「ふくし教育実践指針」
ってなに?

クイズに答えて図書カードをゲット!

耳の不自由な人には、窓口で職員が筆談対応されます(^ー^)
※筆談とは、言葉を交わす代わりに、お互いに文字で書いて意思を伝えあうことです。



これらの写真は、全て同じ場所で撮影したものです。写真の場所がわかった方は、ハガキかEメールに住所・氏名・年齢・答え・YOMO-DE!の感想・ご意見をご記入のうえ、下記の宛先までご応募下さい。抽選で5名様に図書カード(1000円分)をプレゼント致します。

発表は、商品の発送をもって代えさせて頂きます。

☆前回の答えは海きららでした。ご応募ありがとうございました☆

お問い合わせ先

佐世保市社会福祉協議会「よもーで係」

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

TEL 0956-23-3174 / FAX 0956-23-3175

E-mail:yomo-de@sasebo-shakyo.or.jp

佐世保市社会福祉協議会

検索

編集後記

あけましておめでとうございます。今年もYOMO-DE!に変わらぬ愛情をよろしくお願いします(^v^)



あけましておめでとうございます! 新しい年になりましたが初心を忘れずよもーでに携わっていきます(^^)



明けましておめでとうございます。1年が本当に早くビックリです! 今年も宜しくお願いします(*^_^*)

